

# 審判規則について

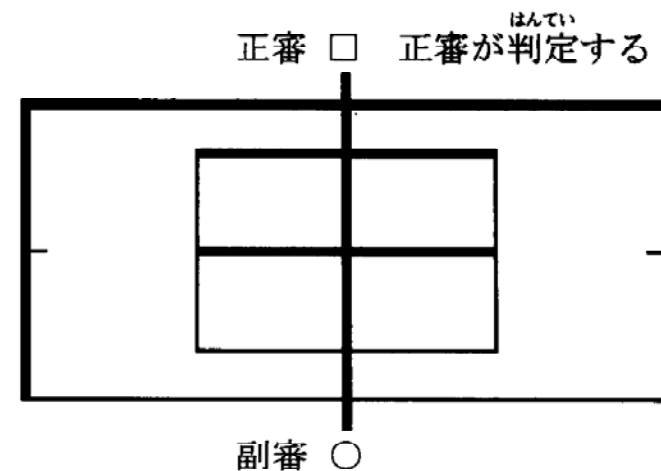
## 1. アンパイヤーの任務と心得

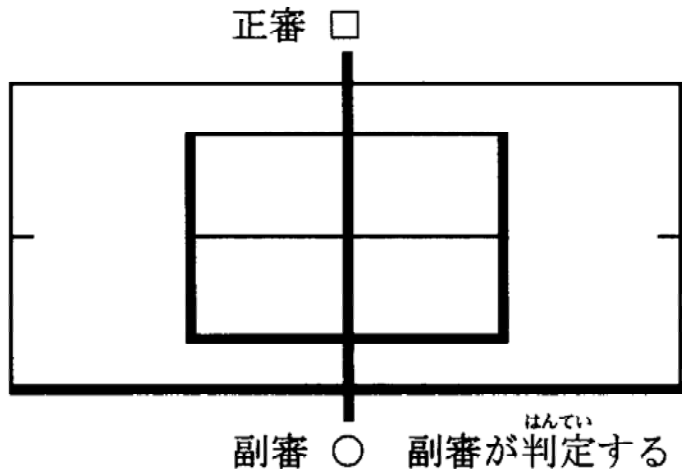
- (1) アンパイヤーは正審 1人，副審 1人を原則とする。
- (2) アンパイヤーはマッチの進行係であり，ルールにしたがい公正な判定をし，スムーズに進めなければならない。
- (3) 正審は，審判台の上で大きな声でコールしてマッチを進め，自分の判定区分を判定する。また，副審のサインやコールを確かめた後，これを尊重してはっきりとコールし，採点票に記録する。
- (4) 副審は審判台と反対側のサイドラインの外側で，ネットポストの後方約 60cm（定位置）のところに立つ。ただし，サービスの判定のときには，レシーブ側のサービスラインの仮想延長線上で，コートに入らないように構え，サービスが入ったことを確かめたら定位置へすばやく走って移動しラリーを見守る。また，副審の判定区分の判定を受持つとともに正審を助ける。
- (5) 副審は，「区画線による判定区分」についてはサインで，「その他の判定区分」についてはサインとともにコールで正審に知らせる。
- (6) 副審はボールを管理する。（マッチ開始前にボールのバウンドが 2個揃っているかを確認しゲームセットの後はボールを本部へ返す。）
- (7) 競技規則と審判規則をよく学習して，審判がきちんとできるようにし

- (8) アンパイヤーの服装は，原則としてソフトテニスをするときの服装とする。
- (9) プレーヤーより先に準備を整えてプレーヤー
- (10) 動作や言葉使いに注意して，きびきび，はきはきと行う。
- (11) マッチがスムーズに明るく楽しくできるように努力する。
- (12) コールは定められたとおりの大きな声で行う。
- (13) サインは定められたとおりはっきり正確に行う。
- (14) 正審と副審は連絡を取り合い，力をあわせて審判を行う。
- (15) それぞれの判定区分を守る。

## 2. アンパイヤーの判定区分

- (1) 区画線による判定区分





(2) その他の判定区分（正審も副審も同じ）

ツーバウンズ	ドリブル	キャリー
ダイレクト	インターフェア	
ボディタッチ	タッチ	チップ
ネットオーバー	ネットタッチ	スルー
レット	ノーカウント	フットフォールト

### 3. サイン

(1) アンパイヤーはインのボールに対してはサインをしない。ただし、インであるがプレイヤーがどちらかわからないで迷いそうなときは、手のひらを下にして片手を前ななめ下に差し出す。

(2) 副審のサイン

① サービスのときの構えは、付図（ア）のとおり、片足（レシーブ側）を前に出して腰を低

くして構え、足を出した側の手は膝の上に軽く置く。

- ② フォールト（区画線の判定区分による。ネットにかかったものはサインをしない。）のときは、付図（イ）のとおり、構えた姿勢のまま指を伸ばし肘が直角になるように片手を上に挙げる。
- ③ レットのときは、付図（ウ）のとおり、両足をそろえてまっすぐに立ち、片手を上に挙げるとともに、第1サービスは指を2本、第2サービスでは指を1本立てて、「レット」とコールする。
- ④ 打ったボールがアウトしたときは、付図（エ）のとおり、ボールが落ちたところへまっすぐ向き、目は落ちたところをじっと見て指を伸ばし外側の手を上に挙げる。
- ⑤ その他の判定区分は、付図（オ）のとおり、片手で失ポイントになることをしたプレイヤーを指して（例えば「ネットタッチ」と）コールする。右側のプレイヤーには右手で、左側のプレイヤーには左手で指す。
- ⑥ ノーカウントにすることを正審に伝えるときは、付図（カ）のとおり、両手を顔の前で交差するように振り「ノーカウント」とコールする。
- ⑦ タイムは付図（キ）のとおり、手のひらを正審のほうに向けて両手を挙げ、「タイム」とコールする。

付 図 かま しせい  
 (ア) 副審の構えの姿勢



(イ) フォールト



(ウ) レット  
 (コールもする)



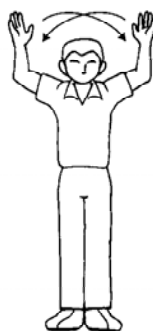
(エ) アウト



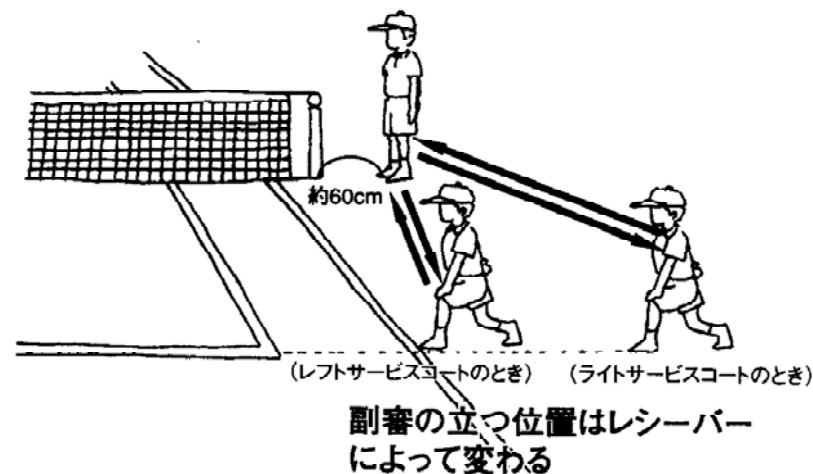
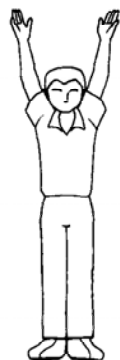
(オ) その他の判定  
はんてい くぶん  
 区分  
 (コールもする)



(カ) ノーカウント  
 (コールもする)



(キ) タイム  
 (コールもする)



#### 4. 判定の確認と連携

アンパイヤーは、自分の判定区分でボールの落ちたところが、イン、アウト、またはフォールトであるか迷うときは、ボールの落ちた跡を確かめてから判定してよい。正審は副審に頼んでもよい。副審が判断できないときは、正審が審判台から降りて確かめてもよい。

#### 5. プレーヤーから質問があったときは？

(再判定)

プレーヤーからの質問の内容を確かめて、判定の結果を正審から知らせる。その判定に対して同じプレーヤーからの聞合せは異議とみなし、イエローカード(警告)を出す。